

新しい学校における就学前教育の推進について

【高円寺地域における新しい学校づくり計画本文：6ページ】

就学前教育の推進

現在の杉並第四小学校は高円寺北子供園との連携教育を実践しており、「子供園・小学校のかかわりを通して、豊かな人間性をはぐくむ」ことを目標に、それぞれの学びを深める教育活動を行っています。これまでの成果を生かしつつ、当面、現在の高円寺北子供園を杉並第四小学校に継続して存置し、就学前教育との連携について具体的な方策の検討を行います。

【杉並区幼保小接続期カリキュラム・連携プログラム

～ぐんぐん伸びるすぎなみの子～（平成26年2月策定）

『子どもの育ちと学びをつなぐには保育者と小学校教員の相互理解できる関係づくりが基本』

- 遊びを通して学ぶ就学前教育から教科等の学習を中心に学ぶ小学校教育へ円滑に接続するために、これまで以上に就学前教育施設と小学校の関わりを深めることが大切
- 就学前教育と小学校教育の段差をうまく乗り越え、小学校の生活や学習に滑らかに移行できるように、幼児と児童の交流活動や保育者と小学校教員の情報交換等の連携が大切

*幼保小連携教育の主な教育効果

- 園児は、小学生と一緒に活動をする中で、小学生に認められ、できたという喜びを味わい、小学生に対するあこがれの気持ちが育まれている。
- 児童は、園児の気持ちや周りの様子を考え、わかりやすく伝えるための言葉選びをするなど、思いやりのある行動が身についてくる。
- 教員・保育者の交流が深まり、園児の実態や児童の発達、教育内容を相互に理解することにより、それぞれの現場での指導や学習の進め方の参考となっている。

1 杉並第四小学校と高円寺北子供園の子小連携教育について

(1) 特徴

- 平成17年度に高円寺北幼稚園が杉並第四小学校内に移設
→平成23年度に高円寺北子供園開設
子どもたちも教員もさらに結びつきが強まる環境（同一施設内）が整い、日常的なふれあいやかわりを大切にしながら、子小連携教育活動を展開している。
- 本年度より杉四小校長が子供園の園長を兼務することにより、互いの教育活動が一元化された形で具現化されている。
- 杉四小の毎朝の職員会議に子供園職員が参加することにより、学校・園の一日の動きを共通理解し、教育活動を実施している。
- 各学期はじめに、杉四小・子供園の全教職員が集まり、子小連携活動について、計画・確認・検証する会議を実施し、成果と課題の共通理解を図り、日々教育実践を行っている。

(2) 主な取組

- 子供園入園式での2年生児童によるお祝いの言葉と歌での歓迎、卒園式では、杉四小全校で卒園生を送るセレモニーを実施
- 1年生と年長児がペアになり、小学校の授業体験活動の実施
- 2年生と年長児は、生活科授業での交流として自然園でのザリガニ釣り
- 3年生が国語の授業で年長児に杉四小の紹介授業を実施
- 4年生は毎週金曜日に年少組園児の給食配膳を手伝い、一緒に給食を食べる交流を実施
- 5年生は子供園の運動会に参加し、競技・運営にも関わる（土曜授業）
- 杉四小のサマーキャンプ、運動会、学習発表会に園児が参加
- 火曜日、金曜日に園児が杉四小校庭、体育館を活用し運動
- 東京高円寺阿波おどりに、児童・園児で構成する子どもたちだけの連「杉の子連」を結成し出場

2 杉並第四小学校と就学前教育施設（高円寺北子供園を除く）との連携状況

- ◆連携先・・・高円寺北保育園
- ◆主な取組・・・1年生の授業体験、校庭・体育館での運動会

3 杉並第八小学校と就学前教育施設との連携状況

- ◆連携先・・・高円寺南保育園、聖心学園幼稚園等
- ◆主な取組
 - ・交流給食会への招待
園児と児童と一緒に給食を食し、食後に校庭で遊ぶことで園児と児童のふれあいの機会とする。
 - ・オープンスクール
就学前の園児が学校生活を体験することで、学校の楽しさを知り、期待をもって入学できるようにする。

4 高円寺北子供園と他の就学前教育施設との連携状況

- ◆連携先・・・高円寺北保育園、高円寺南保育園、保育室高円寺、マミーズエンジェルなど
- ◆主な取組・・・杉四小校庭、体育館を活用した交流活動（高円寺地域保育施設交流会）の実施
夏のプールでの交流活動の実施

5 新しい学校における「就学前教育の推進」の課題等

- *小学校教員と保育者（幼稚園教諭、保育士）の連携、交流、研究などの時間の確保
- *高円寺北子供園以外の就学前教育施設との連携のあり方